SebArt *professional line*

KatanaS 30E

ARF

組立説明書

この新しい *KatanaS 30E ARF* はイタリア F3A 界の大御所セバスチャーノ・シルベストーリによって設計されました。彼を一躍有名にした TOC 機 *KatanaS* をベースにデザインされています。

長年の 3Dフライトの経験と研究の成果がこの機体に詰め込まれています。高い剛性と軽量化を両立させ、いかなるスピードでも精緻なコントロールが可能となったのです。このクラスの機体において比類なき高性能機といわれるのも無理がありません。

KatanaS 30E ARF は、ハリアー、トルクロール、ブレンダー、ウォーターフォールなどなど驚きの演技を可能にしています。この機体の性能をどれだけ引き出せるか？それはあなた次第です。

.....the only aerobatic limit is your fantasy!

スペック：

ウイングスパン	1250ｍｍ	全備重量	1300-1500ｇ
全長	1250ｍｍ	プロポ	6ch4 サーボ（トルク 1.6-2kg,サイズ 22x12x22mm 以内）
翼面積	36.5dm2	パワーユニット	Hacker A30-12L,A30-10XL+50AESC

キット付属品：

カラーリング済みグラスカウル、51mm プラスチックスピンナー、グラスモーターマウント、冷却用エアースクープ、ランディングギア＋タイヤ、スパッツ、テールギア＋タイヤ、成型済みキャノピーアッセン、カーボンウイングパイプ、ナイロンウイングボルト、デカール、リンケージパーツ一式。

完成までに別途必要なもの

プロポ関係:

- 最低 6 チャンネルコンピュータプロポ
- サブマイクロサーボ 4 個（トルク 1.6-2.0kg 程度、サイズ 22 x 12 x 22ｍｍ以内）
- 300ｍｍリードハーネス 2 本
- 100ｍｍリードハーネス 4 本

パワーユニット関係（バースト 30Ｃ以上のハイディスチャージリポの場合の参考）：

- Hacker A30-12L + SPIN55 ESC + APC 12 x 6 E など
- Hacker A30-10XL + SPIN55 ESC + APC 13 x 6.5 E など
- AXI 2820/12 + SPIN55 ESC+APC 12X6E など

ツール:

- ドレメルなど電動ドリル
- 1,5mm ドリルビット
- ドライバー
- ホビーナイフ
- マスキングテープ
- 半田ごて、ハンダなど

接着剤:

- 低粘度瞬間接着剤
- 中粘度瞬間接着剤

警告

ラジコン飛行機はおもちゃではありません。間違った使い方をすると重大な事故を起こす可能性があります。決められた場所や人のいない安全な場所で飛行させましょう。またプロポやモーター、アンプなどに付属の取扱説明書を熟読して正しく機器を使用しましょう。

組み立てる前に

キットを組み立てる前に損傷がないか胴体やウイングパネルなどを確認してください。またパーツなどもすべて入っているかをご確認下さい。温度や湿度の変化でフィルムにたるみが出ている場合があります。その場合はホコリ等を払ってから低い温度でアイロンをゆっくりかけてください。高い温度でアイロンをいきなりかけるとフィルムが急激に収縮し穴が開いてしまうことがあります。十分に注意をしてください。

保証に関して

購入時に発見された機体の損傷.や部品が入っていないなどのトラブルに関しましては初期不良として交換または部品補給などをさせていただきます。しかしながら組立後や飛行後あるいは改造などを行った場合についてはこの限りではありません。このキットは中上級者を対象に設計・製造されています。このキットに含まれる部品等については万全を期しておりますが、組立後の安全性や飛行性能に関してはすべて組み立てた自己の責任になります。従いましてもしこれまでの知識や経験に照らし合わせて少しでも強度や安全性に不安のある場合は、機体を強化するなどの施策をとられますようお願いいたします。

SebArt di Sebastiano Silvestri
Via Roma 83/85
38017 Mezzolombardo (TN) – Italy
www.sebart.it

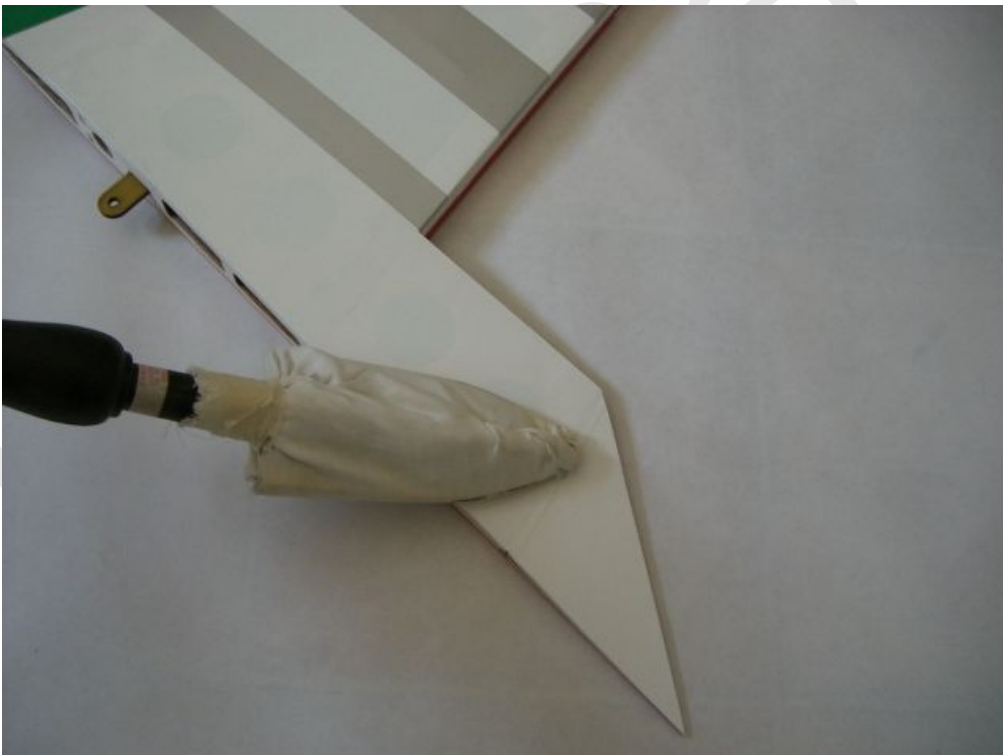
日本総代理店：株式会社リトルベランカ
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-11
外濠スカイビル
Tel:03-3267-4700 Fax:03-3267-4701
www.little-bellanca.com/

Section 1 – 主翼フィレットの取り付け

□□ **step 1**

.左右のフィレットを間違いの無いように主翼後縁に差し込みます。うまくフィットするようであれば中粘度瞬間接着剤で接着します。あまっているフィルムの端は外側に広げておきます。あとで接着面にかぶせアイロンをかけます。

□□ **step 2**

先ほどの余らせたフィルム部分をフィレット継ぎ目にかぶせて中温でアイロンをかけます。こうすれば継ぎ目部分のフィルムがはがれにくくなります。

□ **step 3**

もう一方の主翼フィレットも同じ要領で主翼に接着し、アイロンをかけて継ぎ目を目立たなくさせます。

Section 2 – エルロンの取り付け

□□ step 1
エルロンと主翼に開けられたヒンジスリットにエルロンヒンジを差し込んでください。うまく入るかどうか叉スムーズに動くか、エルロンと主翼が揃っているかなど確認してください。

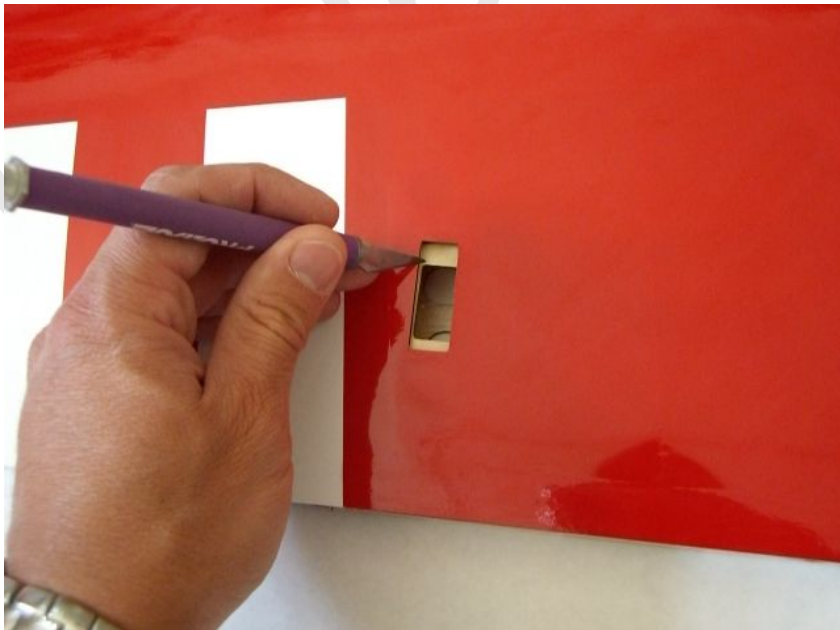
□□ step 2
エルロンヒンジの片側をエルロンに差し込んだ状態で低粘度接着剤をしみこませます。

□□ step 3
エルロンヒンジを差し込み、隙間からエルロンヒンジに低粘度瞬間接着剤をしみこませます。

□□ step 4
瞬間接着剤が乾いてからエルロンを動かしてみます。スムーズに動くよう調整してください。

□ step 5
もう一方の主翼にもエルロンを同じ要領で取り付けます。

Section 3 – エルロンサーボの取り付け

□□ step 1
ホビーナイフでエルロンサーボ取付部のフィルムを切り取ります。

□□ **step 2**

サブマイクロサーボ及び100mmリードハーネス（いずれも別売）とリンケージ用 パーツ（付属）を用意してください。

□□ **step 3**

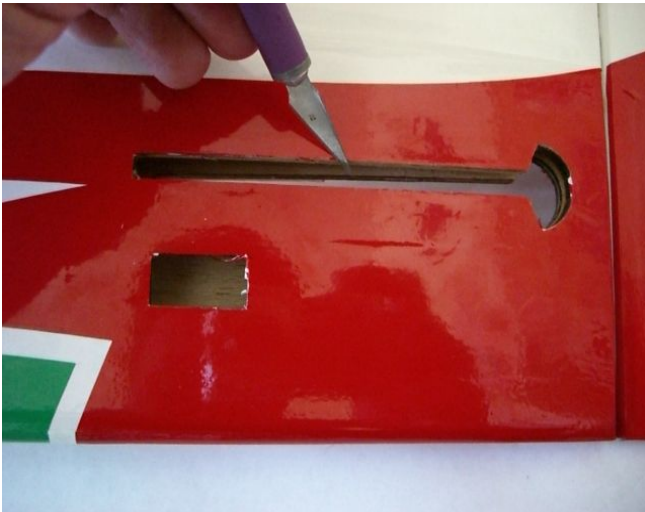
エルロンサーボをサーボベッドに取り付けます。サーボはニュートラルを取って置き、ホーンとピアノ線で接続します。また 100mm のリードハーネスをサーボリードにつなぎ、主翼の中を通して翼付根の穴から出しておきます。

□ **step 4**

もう一方の主翼にも同じようにエルロンサーボを搭載してホーンと接続します。

Section 4 – ラダーの取り付け

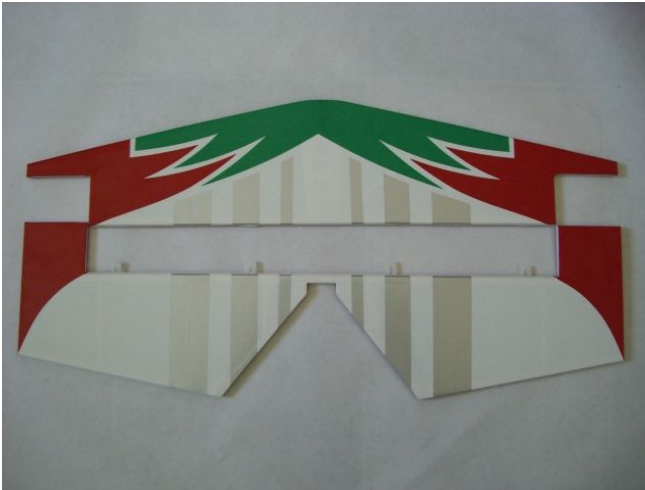
□ **step 1**

ホビーナイフで胴体後部にあるサーボ穴や水平尾翼の差込穴のフィルムを切り取ります。垂直尾翼を差込み、低粘度瞬間接着剤をたらしておきます。注意：胴体に主翼接続用カーボンロッドを差し込んでおきそれと直角になっているか確認した上で接着を行うと正しい角度で取り付けられます。

□ **step 2**

ラダーにヒンジを 3 箇所差込み、位置を確認の上ヒンジ部分に低粘度瞬間接着剤をしみ込ませてください。

Section 5 – エレベーターの取り付け

□ **step 1**

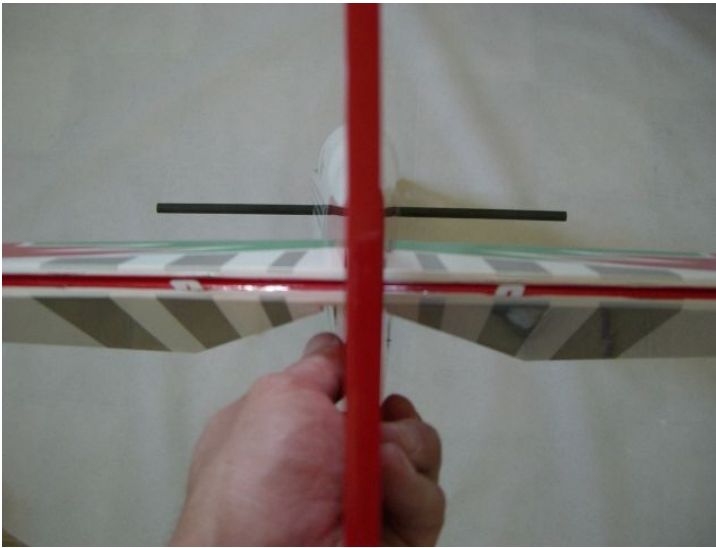
ヒンジを 4 箇所、エレベーター（可動翼だけ）に半分だけ差し込んでください。そして低粘度瞬間接着剤で固定します。注意：ここでは可動翼だけにヒンジをつけてください。

□ **step 2**

次に先ほどヒンジを取り付けた可動翼だけ先に胴体に差し込みます。次に水平尾翼を差し込みます。

□ **step 3**

胴体中央部のカーボンチューブ差込口のフィルムをホビーナイフで切り取ります。

□ **step 4**

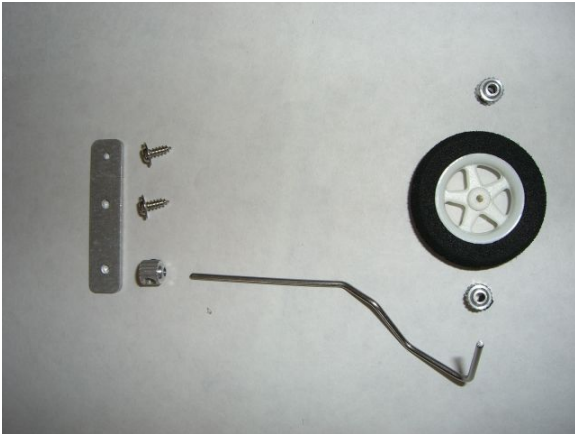
主翼カーボンチューブを差し込み、水平尾翼が平行になっているか確認します。違っているようであれば水平尾翼をはずして差込口の左右を調整します。

□ **step 5**

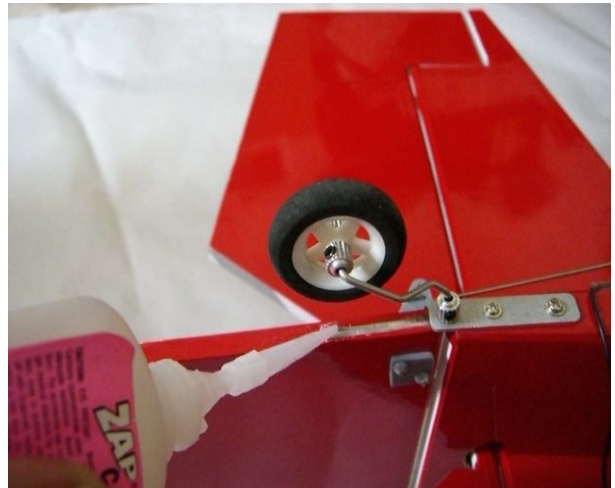
可動翼側に接着されているヒンジを水平尾翼側に差し込み、ヒンジ部分に低粘度瞬間接着剤をしみ込ませます。

□ **step 6**

主翼カーボンパイプと水平かどうかを再度確認してから水平尾翼を固定します。低粘度瞬間接着剤を流し込んで固定します。

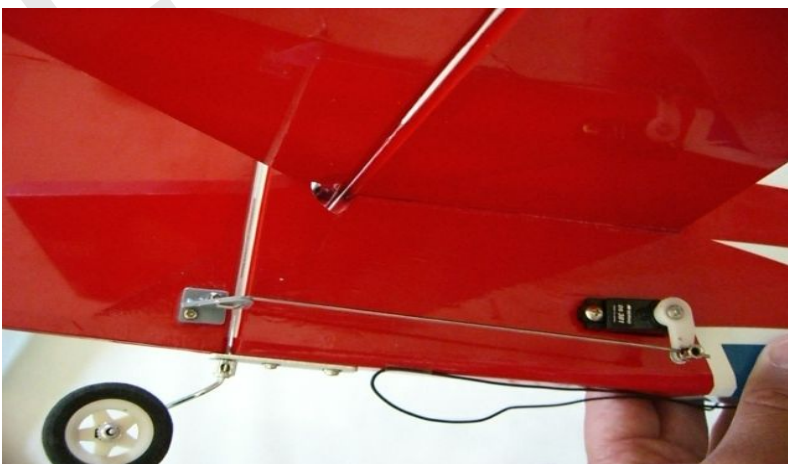
Section 6 – テールギアの取り付け

□ **step 1**
テールギア関係のパーツ（付属）を用意します。

□ **step 2**
ホビーナイフでラダー下部に溝を切ります。先端に 1.5ｍｍ穴を開けておきます。

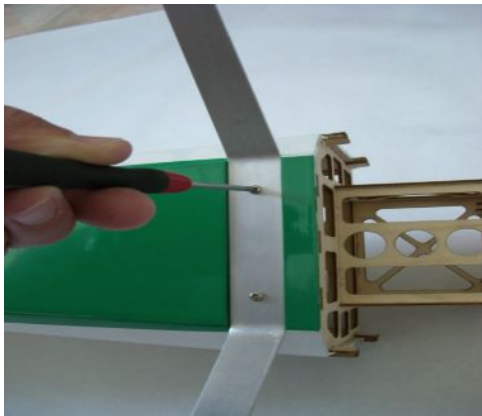
□ **step 3**
ピアノ線を曲げて、先ほどの溝と穴にピアノ線を差込みます。テールギアアッセンを取り付けてから中粘度瞬間接着剤で固定します。

Section 7 – エレベーター・ラダーサーボの取り付け

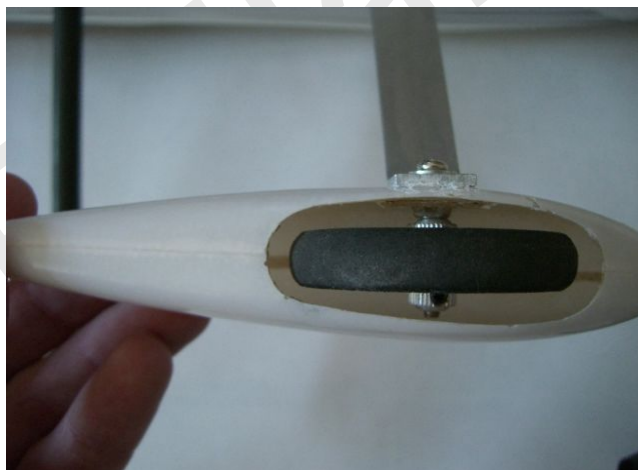
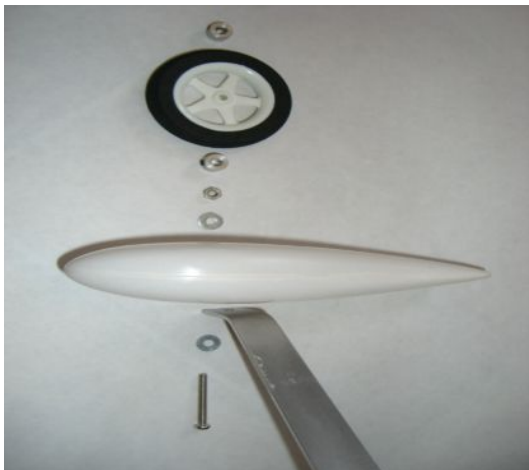
□ **step 1**
サーボと 300mm リードハーネス（別売）及びリンケージパーツ（付属）を 2 セット用意します。

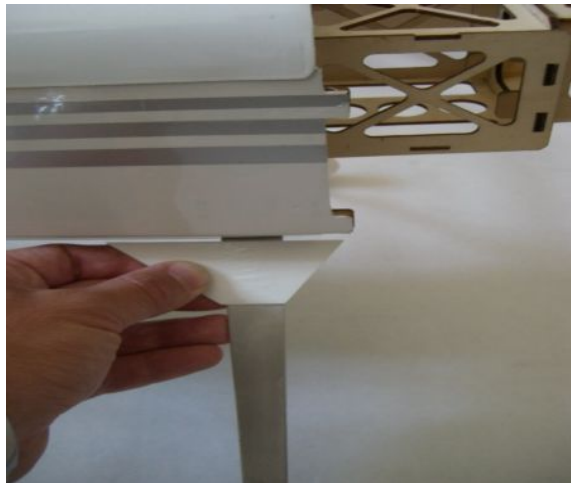
□ **step 2**
エレベータサーボを取り付けます。動きに無理が出ないようホーンの位置及び角度に注意してください。300mm のリードハーネスを接続して胴体前方へ通しておきます。

□ **step 3**
ラダーサーボも同様に取り付けます。動きに無理が出ないようホーンの位置及び角度に注意してください。300mm のリードハーネスを接続して胴体前方へ通しておきます。

Section 8 – ランディングギアとタイヤの取り付け

□ **step 1**

ランディングギアを 2 本のタッピングビス（付属）で胴体に固定します。注意：ジュラ脚に白のオラカバフィルムなどを張るかあるいは白のプラカラーを吹くとさらにおしゃれになります。

□□ **step 2**

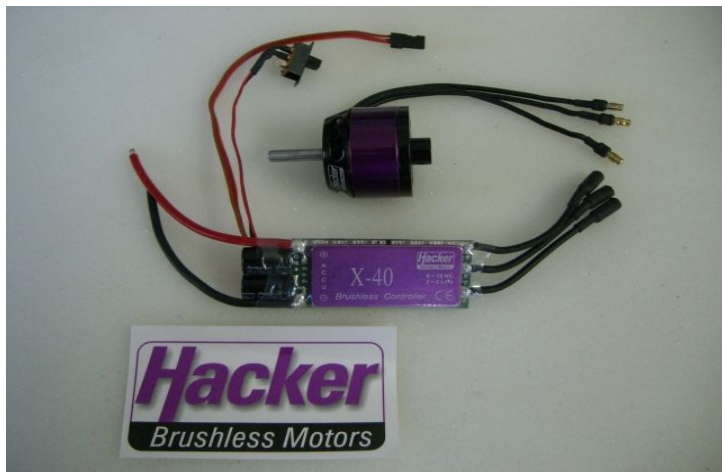
スパッツ、タイヤ、取り付けネジ（すべて付属）などを用意して、写真のようにタイヤを取り付けます。スパッツとランディングギアの間に低粘度瞬間接着剤をしみこませて固定します。

□□ **step 3**

中粘度瞬間接着剤でランディングギアフィレットを写真のように接着します。

□ **step 4**

もう一方のサイドも同じようにスパッツ、タイヤ、フィレットを取り付けます。

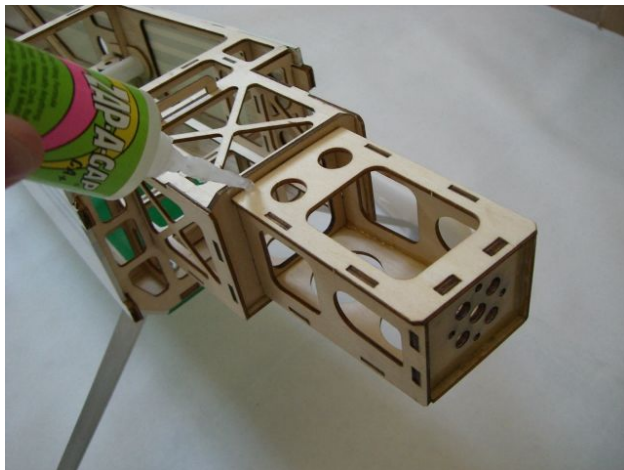
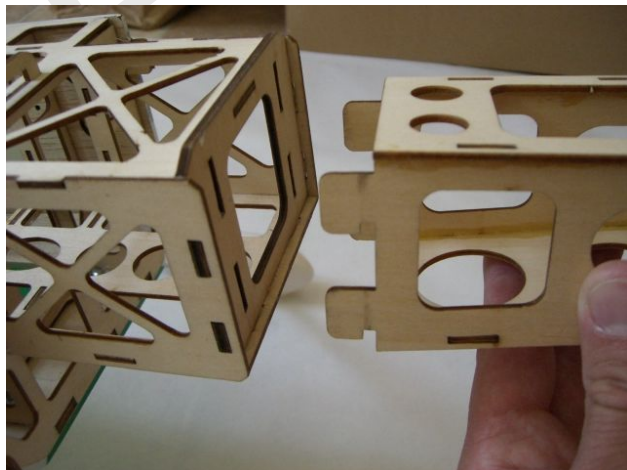
Section 9 – パワーユニットの取り付け

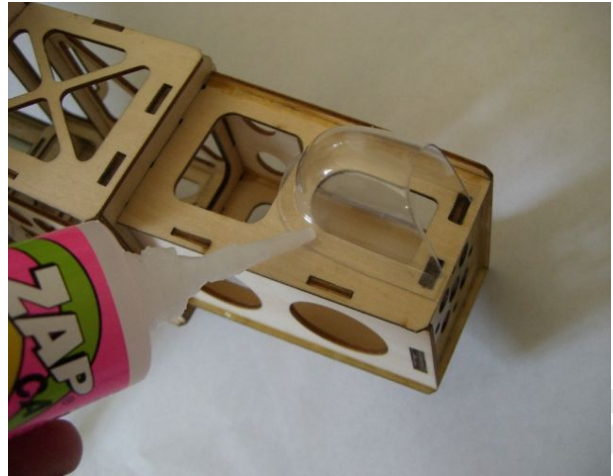
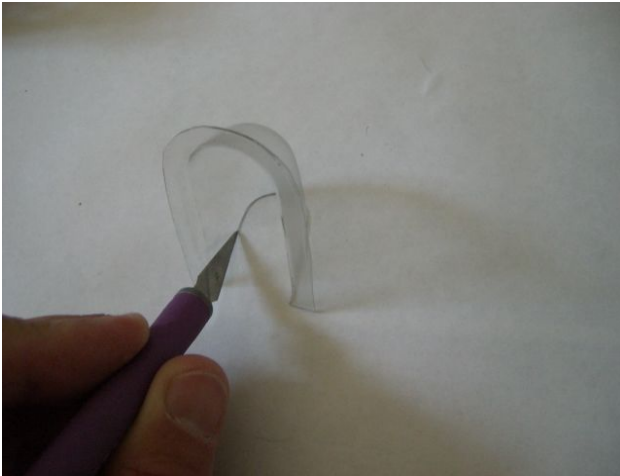
パワーユニットを用意します。50Cバーストのようなハイディスチャージタイプのリポの場合は 50A前後の ESC が必要ですが、それ以下では写真のように 40A程度でも大丈夫です。

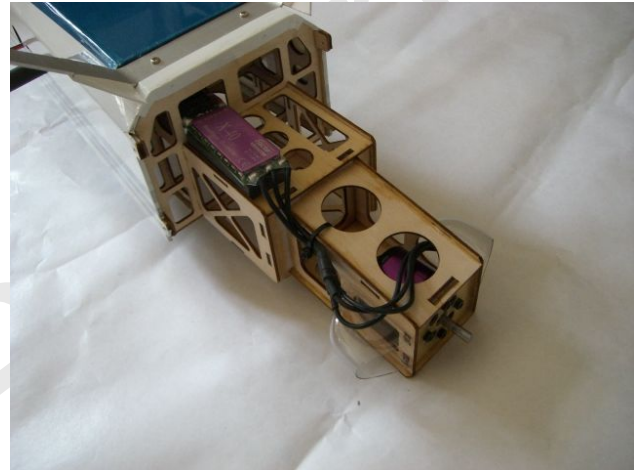
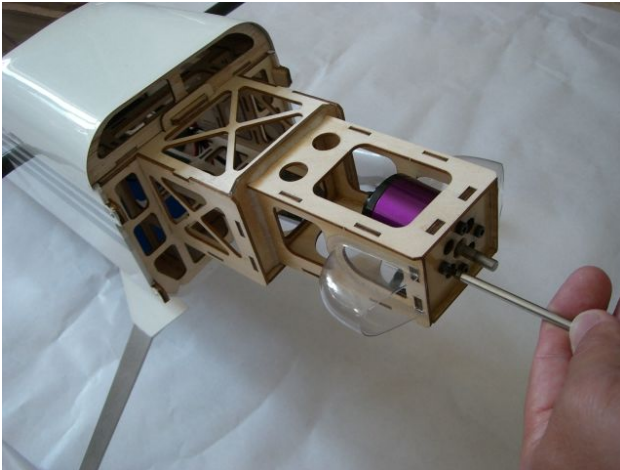
- Hacker A30-12L + SPIN55 controller + APC 12 x 6 E
- Hacker A30-10XL + SPINN controller + APC 13 x 6.5 E

□ step 1

モーターマウントのセンター部をリーマーなどで拡げ、スナップリングなど可動部分が接触しないようにします。なおマウントにはモーター固定用 25mmピッチ穴が 4 箇所あけられています。

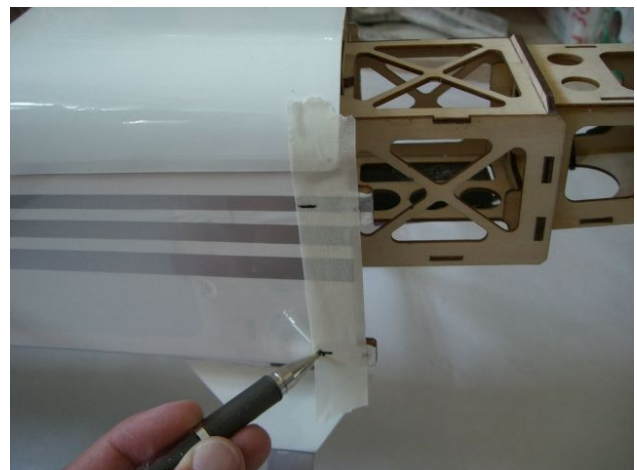
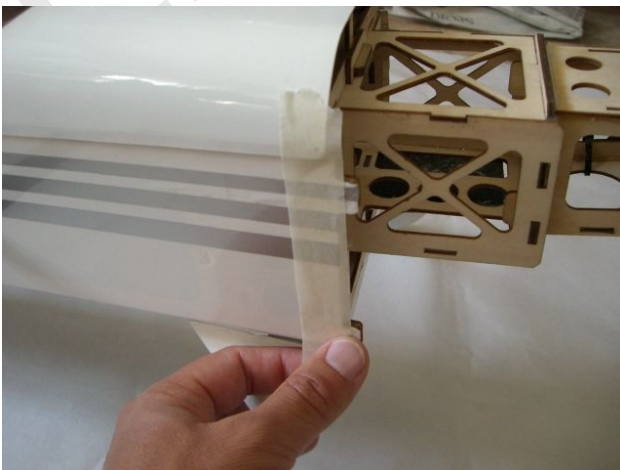
□ step 2

モーターマウントを中粘度瞬間接着剤で固定します。サイドスラスト・ダウンスラストが自動的につきます。注意：モーターマウント全体に低粘度瞬間接着剤をしみこませて強度アップをしてください。

□ **step 3**

エアスクープを整形し、低粘度瞬間接着剤でモーターマウント左右に接着します。

□ **step 4**

モーターを取り付け、アンプもタイラップやマジックテープなどで固定します。

Section 10 – フロントカウルの取り付け

□ **step 1**

マスキングテープの右端が固定用ネジ穴位置になるように張り、また上下位置がわかるようにテープ左端に濃い目の印をつけておきます。

□ **step 2**

カウルを胴体に差込み、シャフトにプロペラアダプターとスピンナーのバックプレートを取り付けます。バックプレートとカウルのクリアランスを 2mm程度に調整してカウル位置を定めます。位置が決まったら前に張ったマスキングテープと同じ位置に重ねてマスキングテープを張り、1.5mmのドリルで左右 4 箇所にビス穴を開けます。

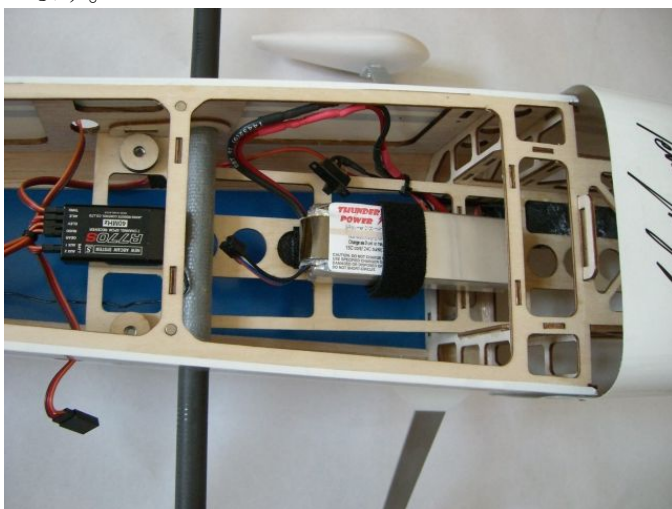
□ **step 3**

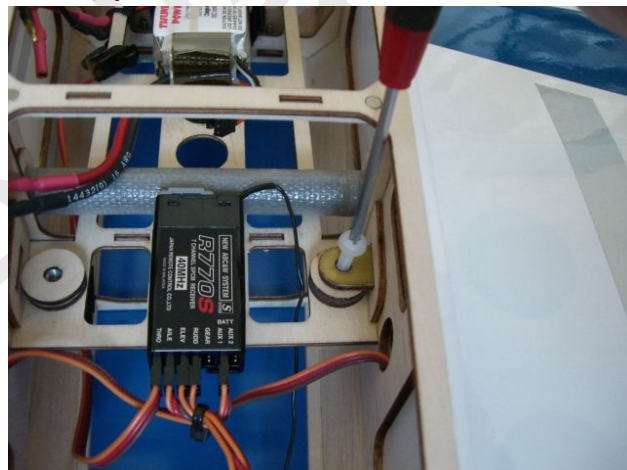
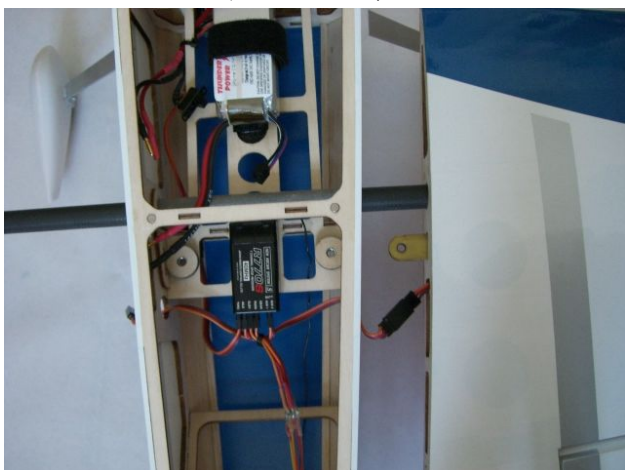
マスキングテープをはずしカウルを付属のタッピングスクリュウで固定します。

□ **step 4**

プロペラとスピンナーを固定します。ハッカーA30 などに付属のプロペラアダプターではスピンナーバックプレートを入れるとナットが締め切れませんので、安全のためアエロノウトやリトルベランカオリジナルを使いましょう。

Section 11 – 受信機、バッテリーなどの搭載

写真を参考にしてください。エルロンサーボ用に 100mm のリードハーネスが受信機に 2 本接続されています。

Section 12 – 主翼の接続

カーボンパイプに差し込んで、ナイロンボルトで固定します。

舵角の設定

次の舵角を参考にしてください。初フライトの場合は少なめの数値からはじめてください。

エルロン：

Low rate: 20° up / 20° down　**Expo:** 40%

3D rate: 45° up / 45° down　**Expo:** 80%

エレベータ：

Low rate: 20° up / 20° down　**Expo:** 25%

3D rate: 50° up / 50° down　**Expo:** 80%

ラダー：

Low rate: 30° left / 30° right　**Expo:** 30%

3D rate: 50° left / 50° right　**Expo:** 60%

Note: エクスポネンシャルは JR はプラス、フタバはマイナスです。

舵角とエクスポネンシャル

上記のエクスポンシャル数値を使うと大きな舵角でありながら、3D フライトがより滑らかにみえます。3D フライト以外では Low Rate のエクスポネンシャル数値が適当です。スナップロールを含むパターンなどでは Low Rate で十分です。フライトモードでレートを切り替えながら機体の的確なコントロールを行うようにしましょう。

重心位置

スポーツフライトの推奨重心位置は前縁から 115mm の位置です。ちょうどカーボンパイプの中心に当たります。ただパターンや 3D の場合は下記数値がより適切です。.

- **115mm**・・スポーツ
- **110mm**・・パターン
- **120mm**・・3D フライト

バッテリーパックを前後させて重心位置をしっかり決めてください。

プロポ等の動作確認

□ **step 1**
フライト前に必ず距離テスト行ってください。少しでもおかしな動きがある場合はフライトを中止して原因をチェックしてください。

□ **step 2**
舵角の動作量、動作方向をしっかり確認してください。

□ **step 3**
送信機バッテリーや動力用バッテリーは満充電されていますか？確認してください。

Finally...
have a nice flight!

SebArt di Sebastiano Silvestri
Via Roma 83/85
38017 Mezzolombardo (TN) – Italy
www.sebart.it

日本総代理店：株式会社リトルベランカ
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-11
外濠スカイビル
Tel:03-3267-4700 Fax:03-3267-4701
www.little-bellanca.com/